バンドパスフィルタ · 1900–2800 MHz

1590、1680、3020、3110 MHz の抑圧を個別に確認してください。2000 MHz を超える周波数では、マイクロ波用多層基板の開口部への埋め込み実装は禁止です。

RF 特性

項目	値
通過帯域	1900–2800 MHz
通過帯域内挿入損失 [1]	≤ 2.5 dB
通過帯域内リップル [1]	≤ 1.5 dB
帯域外減衰量 · DC–1450 MHz	≥ 60 dBc
帯域外減衰量 · 1590 MHz [2]	≥ 30 dBc
帯域外減衰量 · 1680 MHz [3]	≥ 10 dBc
帯域外減衰量 · 3020 MHz [4]	≥ 10 dBc
帯域外減衰量 · 3110 MHz [5]	≥ 30 dBc
帯域外減衰量 · 3250–5000 MHz	≥ 60 dBc
VSWR [1]	≤ 1.80
遅延変動	≤ 2.5 ns

[1] 1900–2800 MHz
[2] 1590 MHz
[3] 1680 MHz
[4] 3020 MHz
[5] 3110 MHz

設計定格 設計保証

項目	値
許容電力	2 W
動作温度	−40…+70 °C
保存温度	−55…+85 °C

機械仕様

項目	値
RF 端子	マイクロストリップ用丸ピン、Ø0.38 mm
RF インピーダンス	50 Ω
表面処理	銀めっき

機械仕様

項目	値
筐体寸法	25 × 13 × 5.5 mm (RFピンの突出部を除く)
取付穴	M2 貫通ねじ穴 4 個 (穴の中心間隔 20.5 × 8.5 mm)
筐体底面からのRFピン中心高さ	2 mm
筐体側縁からピン軸までの距離	6.5 mm
筐体角部半径	1 mm

実装と取扱い

製品表面を清掃する際は、フィルタを洗浄液に浸さないでください。 ユニット全体の温度が 125 °C を超える場合は、ご注文前にご相談ください。 2000 MHz を超える周波数では、マイクロ波用多層基板の開口部にフィルタを埋め込んで実装しないでください。

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。